

●第70回QCサークル発表会(令和6年3月19日)

患者さんの満足度向上や業務効率改善を目指した取り組みについて3チームが発表を行いました。

●優秀賞

- スマイル(医事課) テーマ 「電話のかけ直し削減ー健診予約ー」
- キッチン(栄養管理科) テーマ 「朝食の見直し」



新入職員紹介

栄養管理科 調理員

むらた るな
村田 留菜
(令和6年1月16日入職)



先輩方のアドバイスをよく理解して、安心安全のお食事を提供できるよう責任感を持って勤めて参ります。

介護福祉士

むらかみ あきひろ
村上 晃洋
(令和6年3月1日入職)



丁寧な介助を心掛けて信頼して頂けるよう一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。

今回は令和6年1月から3月までに入職した職員を掲載いたしました。令和6年4月に入職した職員は次回掲載いたします。

医事課 事務員

たかぎ みつとし
高木 充智
(令和6年3月1日入職)



思いやりを大切に、地域の皆様のお役に立てるよう、いち早く業務内容を理解して頑張りたいと思います。

地域連携室

いぬまき よしのぶ
狗巻 好宣
(令和6年3月1日入職)



一日でも早く業務に慣れ、患者様の入退院のサポートをしていけるように頑張っていきたいと思います。



医療法人 千徳会

桜ヶ丘病院

院長 成川 暢彦

〒649-0304 和歌山県有田市箕島904
TEL : 0737(83)0078 FAX : 0737(83)0079
E-mail : sakura_2007@cherry-hill.or.jp
http://www.cherry-hill.or.jp

●地域連携室
TEL 0737(83)0829



診療科目等

- 内科(呼吸器・循環器・消化器・糖尿病・脂質代謝)
腎臓内科(人工透析)・脳神経内科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科
婦人科・眼科・リハビリテーション科・放射線科・各種健診・人間ドック
- 入院許可ベッド数 99床
一般病床:49床(特殊疾患病棟入院料1)
医療療養病床:50床(療養病棟入院基本料1)
- 腎センターベッド数37床(最大受入患者数114名)(夜間透析実施中)

医療法人千徳会

- 本部 〒649-0304 和歌山県有田市箕島1265
電話 0737-83-0881 FAX 0737-83-0079
- さくら訪問看護ステーション 〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1
電話 0737-83-0077 FAX 0737-83-0079



千徳会 理念と基本方針

千徳会理念

1. 信頼される医療
2. 安心・安全の医療
3. 慈愛あふれる医療

基本方針

1. 思いやり(相手の立場になり考える)
2. 感受性を豊に(小さなことにも感動を)
3. 創造性(常にチャレンジ)
4. 合理性(道理に適い能率的に)
5. 自己研鑽(常に学習を)

経営理念

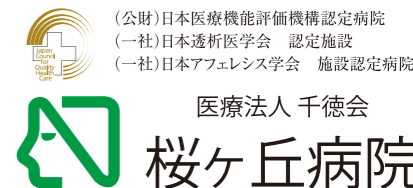
「職場は、職員共同の生活の源泉であり、人間完成の道場である」

「我々は最大の病院になることを望まず、最良の病院になることを望む」

社会福祉法人守皓会

- 特別養護老人ホーム田鶴苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)
〒649-0316 和歌山県有田市宮崎町841-1 電話0737-82-6644 FAX0737-82-6609
- デイサービスセンター田鶴苑(通所介護事業)
- 訪問介護田鶴苑(訪問介護事業)
- 有田市在宅介護支援センター(居宅介護支援事業)
- 特別養護老人ホーム愛宕苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町9-1 電話 0737-82-0600 FAX 0737-82-0606
- デイサービスセンター愛宕苑(通所介護事業)
- グループホーム愛宕苑(認知症対応型共同生活介護事業)
〒649-0305 和歌山県有田市港町29-1 電話 0737-23-7177 FAX 0737-83-5501
- 特別養護老人ホームありだ橋苑(介護老人福祉施設・短期入所事業)
〒649-0314 和歌山県有田市野639-2 電話 0737-83-6255 FAX 0737-83-6260
- デイサービスセンターありだ橋苑(通所介護事業)
- 養護老人ホーム長寿荘(養護老人ホーム)
〒649-0315 和歌山県有田市山地57 電話 0737-82-2946 FAX 0737-83-2640

さくら通信



さくら訪問看護ステーションのご紹介

当ステーションには現在、看護師・理学療法士(PT)・作業療法士(OT)(非常勤含む)が在籍しており、利用者様が自宅で生活が出来るようサポートをさせていただいております。サービス内容は、状態の観察・入浴介助・服薬管理・点滴の実施・各種リハビリ等様々です。

当ステーションの特色としては、当院に脳神経内科があることから、難病に指定されているパーキンソン病やALSの利用者様が多いとい

うことが挙げられます。神経難病は徐々に進行してくる疾患ではあり、症状や経過も一人ひとり異なりますが、かかりつけ医や当院神経内科医と常に情報を共有するよう心がけています。看護師とPT、OTが連携して少しでも

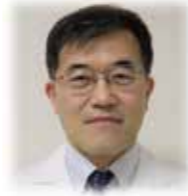
訪問看護・訪問リハビリのご相談・お問い合わせ
TEL (0737) 83-0077
担当:山田・碓

長く住み慣れた自宅で生活出来るよう、全力でサポートします。

今後も地域の皆様に安心して利用して頂くため、様々なニーズに応えられるように取り組んでまいります。訪問看護・訪問リハビリに関するご相談がありましたらお気軽にお問合せください。



腸内細菌叢(腸内フローラ)について



院長補佐 おかだ かずや 岡田 和也

人間の腸内には多種多様な細菌が存在します。腸内に生息する細菌叢(さいきんそう)は、たくさんの細菌が住んでいる様子が「お花畑(flor)」に見えることから、「腸内フローラ」と呼ばれています。

腸内フローラの種類は1000種類以上、その数は約100兆個とも言われています。腸内フローラを形成する腸内細菌には、大きく分けて善玉菌、悪玉菌、日和見菌があり、これらの菌は互いに密接な関係を持ち、複雑にバランスをとっています。一部の腸内細菌が産生する物質「短鎖脂肪酸」は腸内を弱酸性に保ち、有害な菌の増殖を抑制したり、肥満予防や腸の炎症予防、免疫機能の調整、感染症予防など様々な健康効果があります。

近年、国内外の研究によって、様々な疾患と腸内フローラの関連が解明されてきています。大腸がん、潰瘍性大腸炎など腸に関わる疾患のほか、動脈硬化、糖尿病、アレルギー、うつ病、リウマチ、認知症など、腸内フローラとの関連が解明されている疾患は多岐にわたります。

理想的な腸内フローラの比率



善玉菌2:日和見菌7:悪玉菌1

最近では年々高まる健康意識に伴い、腸内環境を整えて健康な体を手に入れる「腸活」が話題となり、そのキーワードは腸内細菌の一つである善玉菌を増やすことです。ヨーグルトなどに含まれる一般的な乳酸菌やビフィズス菌は通過菌と言われる数日で排出されてしまうため、自分の持っている善玉菌を育てるいわゆる“育菌”が大切であると言われています。

腸内フローラは食事をはじめとする生活習慣の影響を大きく受けます。腸内フローラを意識した食生活を送ったり、生活習慣や運動の改善を図ることで、便秘・下痢・肥満の改善、腸内細菌叢と関連性のある疾患の予防や改善に取り組んでいきましょう。

●第14回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会 (令和6年3月16日・17日 於:朱鷺メッセ)

当院から2名が参加し、山下倫礼理学療法士が演題発表を行いました。学会では腎臓リハビリテーションに関する最新の知見や他施設での取り組みを学ぶことができました。

テーマ

「外来透析患者の運動療法促進に向けた取り組み
～フレイル予防の観点から～」

【演題発表】

リハビリテーション科 理学療法士 山下 倫礼



●令和6年度入社式(令和6年4月1日)

新たに(中途採用含む)11名の職員が入職しました。成川暢彦理事長からは、「仕事は人間同士の心のつながり」と共に「関心と熱意を持って取り組むこと」が大切であり、常に「患者さんを第一に考えて行動してほしい」との訓示がありました。3日間の新入職員研修では、接遇や感染対策、医療安全など医療現場で働くための基礎知識に加え、チームで協力しあうグループワークも行いました。



●第91回和歌山透析研究会(令和5年12月10日 於:和歌山県民文化会館)

一般演題

『透析患者の欠食率改善を目指して』

栄養管理科 管理栄養士 中尾 安希

透析患者の食欲不振に対して個々に合わせた栄養指導の実施と透析手帳を活用した食事摂取管理ツールの作成により欠食率改善につながった取り組みについて発表を行いました。



●ウエノ公園ボランティア清掃 (令和6年3月16日)

有田市の桜の名所「ウエノ公園」の清掃活動に当院職員含めさくらグループ12名が参加しました。



●和歌山県医師会永年勤続表彰 (令和6年3月7日)

県内の医療機関で長年勤務し、地域住民の健康を守り医師会活動に貢献した医療従事者として当院より3名が表彰されました。

- 北山佑貴 看護師(勤続15年)
- 児嶋剛弘 看護師(勤続15年)
- 谷口裕典 看護師(勤続15年)

